平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月29日

上場会社名 日本精線株式会社　　上場取引所　東
コード番号 5659　URL http://www.n-seisen.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 近藤 龍夫
問合せ先責任者　(役職名) 経理部長　(氏名) 中川 幸朋　TEL 06-6222-5432

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	22,975	3.6	1,787	11.6	1,822	12.6	1,141	12.9
25年3月期第3四半期	22,178	△11.7	1,601	△35.1	1,617	△35.9	1,010	△29.4

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　1,453百万円　(42.0%)　25年3月期第3四半期　1,023百万円　(△19.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	35.25	―
25年3月期第3四半期	31.22	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	32,870	23,535	70.9
25年3月期	31,485	22,408	70.5

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　23,317百万円　25年3月期　22,212百万円

第1四半期連結会計期間において遡及処理を行っております。詳細は決算短信(添付資料)9ページ「追加情報」をご覧下さい。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
26年3月期	―	5.00	―		
26年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	6.8	2,850	39.5	2,800	38.0	1,800	44.5	55.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

対前期増減率は、組替後の数値との比較によるものです。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	32,461,468 株	25年3月期	32,461,468 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	87,842 株	25年3月期	82,048 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	32,377,033 株	25年3月期3Q	32,383,318 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（追加情報） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果による期待感から過度な円高が修正され、株価も上向くなど、企業収益や個人消費も持ち直し、景気の穏やかな回復が見られました。しかしながら、中国をはじめとした新興国経済の減速や円安による原材料や輸入燃料価格の上昇等、景気の先行きには引続き不透明な状況が続いております。

当社及び連結子会社（以下「当社グループ」という。）が属するステンレス鋼線業界では、建材関連の需要が回復傾向にあることから、業界出荷数量は、前年同期比増加となりました。

このような状況下、当社グループでは、高機能・独自製品（ばね用材、耐熱ボルト用材、金属繊維など）の売上高比率70%以上、海外売上高比率30%以上などを経営目標とする『第12次中期計画（ミッション753）』（最終年度平成27年３月期）の達成に向け、収益の一段の向上に鋭意取り組んでまいりました。

ステンレス鋼線部門では、主力のばね用材が家電・弱電関係の回復の遅れ等の影響を受け伸び悩んだものの、住宅関連の需要が回復傾向で推移した結果、販売数量は前年同期比増加となりました。売上高については、ニッケル価格変動に伴う販売価格の下落等があったものの、販売数量が増加となったことから売上高は前年同期比2.9%の増収となりました。

金属繊維部門では、主力のナスロンフィルター分野が液晶パネル用などの光学フィルム用途の需要回復の遅れが長引くなど、低調に推移したため、減収となりました。一方、半導体機材分野では、韓国や台湾などでスマートフォンやタブレット端末の需要増を背景とした設備投資が好調に推移し、これら装置に用いられる超精密ガスフィルター(ナスクリーン)の需要が大幅に伸長したこと等により、売上高は前年同期比8.5%の増収となりました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は前年同期比3.6%増収の229億75百万円となりました。

損益につきましては、売上増に伴う粗利の増加や工場操業度の改善などにより営業利益17億87百万円（前年同期比11.6%増）、経常利益18億22百万円（同12.6%増）、四半期純利益11億41百万円（同12.9%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、328億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億85百万円増加いたしました。流動資産は203億57百万円となり、10億88百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加（５億16百万円）並びに受取手形及び売掛金の増加（７億50百万円）などです。固定資産は125億12百万円となり、２億96百万円増加いたしました。主な要因は投資有価証券の増加（３億５百万円）などです。

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は、93億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億58百万円増加いたしました。流動負債は61億33百万円となり、１億34百万円増加いたしました。固定負債は32億１百万円となり、１億23百万円増加いたしました。

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は235億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億27百万円増加いたしました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績は概ね当初の予想（平成25年４月26日公表）どおりに推移しており、業績予想に変更はございません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,421	7,938
受取手形及び売掛金	5,779	6,529
商品及び製品	1,944	1,941
仕掛品	2,424	2,329
原材料及び貯蔵品	1,314	1,325
繰延税金資産	259	142
その他	124	150
流動資産合計	19,268	20,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,922	2,828
機械装置及び運搬具（純額）	5,075	5,229
土地	1,588	1,592
リース資産（純額）	27	20
建設仮勘定	17	46
その他（純額）	245	229
有形固定資産合計	9,878	9,948
無形固定資産	305	292
投資その他の資産	2,033	2,272
固定資産合計	12,216	12,512
資産合計	31,485	32,870
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,390	3,427
短期借入金	1,275	1,199
未払法人税等	213	294
賞与引当金	520	270
役員賞与引当金	23	－
資産除去債務	1	－
その他	573	942
流動負債合計	5,998	6,133
固定負債		
退職給付引当金	2,897	3,033
役員退職慰労引当金	142	135
資産除去債務	21	21
その他	16	10
固定負債合計	3,077	3,201
負債合計	9,076	9,334

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	5,446	5,446
利益剰余金	11,947	12,764
自己株式	△32	△35
株主資本合計	22,360	23,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	214
繰延ヘッジ損益	△0	－
為替換算調整勘定	△165	△72
その他の包括利益累計額合計	△147	142
少数株主持分	196	217
純資産合計	22,408	23,535
負債純資産合計	31,485	32,870

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	22,178	22,975
売上原価	18,630	19,170
売上総利益	3,548	3,805
販売費及び一般管理費	1,946	2,018
営業利益	1,601	1,787
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	13	12
為替差益	29	36
その他	27	35
営業外収益合計	74	89
営業外費用		
支払利息	15	14
売上割引	14	13
支払補償費	8	6
固定資産除却損	17	19
その他	1	－
営業外費用合計	57	54
経常利益	1,617	1,822
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	－
ゴルフ会員権評価損	12	4
特別損失合計	13	4
税金等調整前四半期純利益	1,604	1,818
法人税、住民税及び事業税	423	601
法人税等調整額	151	72
法人税等合計	574	674
少数株主損益調整前四半期純利益	1,029	1,144
少数株主利益	18	3
四半期純利益	1,010	1,141

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,029	1,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	196
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	5	111
その他の包括利益合計	△6	308
四半期包括利益	1,023	1,453
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,004	1,431
少数株主に係る四半期包括利益	19	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

１.一部の在外子会社における国際会計基準の適用

第１四半期連結会計期間より、当社グループの事業のグローバル化や、当社グループの親会社である大同特殊鋼株式会社との会計処理の統一を図ることが有用と判断したことにより、在外連結子会社であるTHAI SEISEN CO.,LTD.の財務諸表については、国際会計基準を適用した財務諸表数値を基礎として、連結財務諸表を作成しております。

当該会計基準により、前年四半期及び前連結会計年度については四半期連結財務諸表及び連結財務諸表を遡及処理しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表は、総資産が185百万円、総負債は54百万円、純資産は130百万円それぞれ減少しております。

前第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

２.固定資産除却損の表示方法の変更

前第３四半期連結累計期間において、「固定資産除却損」については特別損失に表示しておりましたが、第１四半期連結累計期間より営業外費用に表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第３四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、特別損失の「固定資産除却損」に表示しておりました17百万円は、営業外費用の「固定資産除却損」17百万円として組替えております。